

藤田觀光 チャレンジの歴史

1877

観光業界の出来事

1945(昭和20年)
第2次世界大戦が終結

1913(大正2年)
第1次世界大戦勃発

1899(明治32年)
外国人の国内における自由旅行が解禁

1889(明治22年)
東京—大阪間で東海道線が全線開通

1950

1949(昭和24年)
運輸省(現・国土交通省)が発足

1959(昭和34年)
日本観光協会が発足

1956(昭和31年)
開発銀行からホテルへの融資開始

1952(昭和27年)
旅行斡旋業法(旅行業法の前身)が制定

1960

1964(昭和39年)
海外渡航自由化/東京五輪開催/
東海道新幹線開業

1963(昭和38年)
「観光基本法」制定

1961(昭和36年)
運輸省として初めて「観光白書」発表

1970

1970(昭和45年)
大阪万博開催

1980

1982(昭和57年)
東北新幹線と上越新幹線が開業

1978(昭和53年)
成田空港開港/日本が世界観光機関(WTO)加盟

1972(昭和47年)
札幌冬季五輪開催/山陽新幹線開業/沖縄返還

※(FC)はフランチャイジーホテル、(MC)はマネジメントコントラクト方式を表す

藤田觀光株式会社の設立と事業拡大 | 1877-1982

当社の前身となる藤田傳三郎商社が設立されたのは1877(明治10)年。戦後、1948(昭和23)年に「箱根小涌園」を開業して本格的に観光業界に参入し、1952(昭和27)年には「椿山荘」を開業。1955(昭和30)年に観光部門を独立させ、「藤田觀光株式会社」を設立した。以降、国内の高度経済成長を背景にした観光需要の高まりや1964(昭和39)年の東京五輪開催など国際イベントによる訪日外国人客の増加もあり、宿泊、リゾート・レジャー、婚礼事業などを中心に当社は順調に成長を続けていく。

1877(明治10年)

藤田傳三郎商社設立

長州・萩出身の藤田傳三郎は、商才を生かして大阪で藤田傳三郎商社を設立。軍需品や土木建築業へと事業を拡大した。



1881(明治14年)

藤田組に改組

1884(明治17年)

政府から小坂鉱山の払い下げを受け、鉱山業に本格参入
傳三郎の死後も鉱山業で一大勢力となり多角化を進めたが、金融恐慌の影響を受け、戦中には傘下の鉱山が国策会社へ統合された。

1945(昭和20年)

藤田鉱業株設立
同和鉱業(藤田組から社名変更)が主力の4鉱山を、藤田鉱業(株)がその他の鉱山などを引き継いだ。

1948(昭和23年)

藤田鉱業株が藤田興業株に社名変更
(不動産、鉄道、観光業主体へ)

箱根小涌園開業

藤田家の別荘を改装して9室の旅館として開業したことが箱根小涌園の第一歩。敷地内から温泉は発見されていなかったが、のちに当社初代社長となる小川栄一の「断固、掘るべし!」という強い信念で掘削を続け、1949(昭和24)年に第1号温泉が湧き上がった。当時の建物は現在では登録有形文化財(建造物)に指定されており、「蕎麦貴賓館」として当時の風情を今に伝えている。



1949(昭和24年)

小川栄一、藤田興業株の社長に就任



1952(昭和27年)

椿山荘開業

南北朝時代、椿が多く自生していたことから「つばきやま」と呼ばれていた地を、明治の元勲山縣有朋が購入、庭園と本邸を建築し「椿山荘」と名付けた。その後藤田家が受け継ぎ、戦後の復興を手掛けたのが小川だった。焼野原と化した椿山荘に約1万本の樹木を移植し、かつての姿を取り戻した庭園にレストランを開業したのが1952(昭和27)年の出来事。寄贈された椿を庭園で観賞したことから1954(昭和29)年に始まった「ほたる観賞のタペ」は、現在は庭園の整備や飼育にも力を入れ、受け継がれている。



1954(昭和29年)

伊東天城荘(のちの伊東小涌園)が開業
当時としては珍しい温水プール付きの純和風旅館・天城荘を譲り受けて営業を開始。

1955(昭和30年)

藤田觀光株を設立

箱根小涌園、伊東小涌園、椿山荘の成長を受けて藤田興業(株)観光部門を独立させ、藤田觀光(株)を設立。小川栄一が社長を兼任した。

1958(昭和33年)

大島小涌園開業
(2001年営業終了)

1959(昭和34年)

旧箱根ホテル小涌園、箱根小涌園新館(のちに本館と改称)開業
高度経済成長による国内旅行需要の拡大と、訪日外国人客の増加に対応するため、国道1号線を挟んで2大施設が建設された。

太閤園開業(2021年営業終了)

藤田傳三郎の本宅「網島御殿」は1945(昭和20)年の空襲で一部焼失したが、残った東邸(のちの淀川邸)を活用して太閤園を開業。



1961(昭和36年)

京都國際ホテル開業

(2014年営業終了)
東京五輪を3年後に控え、二条城横に開業した当社初のシティホテル。外国人を京都に誘客する役割もあって国際的名が付き、風情ある旧三井家の庭園などを残した。



1962(昭和37年)

芦ノ湖スカイライン開通、有料自動車道業を開始(2007年売却)

1964(昭和39年)

大沼パークホテル小涌園、島原觀光ホテル小涌園(2011年営業終了)

1965(昭和40年)

日本初の会員制ホテル
フジタ・グリーン・メンバーズを発表

鳥羽小涌園開業(2016年営業終了)

1967(昭和42年)

下田海中水族館開業

「世界唯一の海に浮かぶ海中水族館」と呼ばれ、無料だったオープン日には多くの子どもが来館。今では技術指導を行うほど運営ノウハウが蓄積されている。



瀬戸内海の直島に

フジタ無人島パラダイスを開設
(1987年開発会社解散)

1968(昭和43年)

フジタグアムタモンビーチホテル開業

海外初進出。タモン湾海岸沿いのホテル。2002(平成14)年の大型台風被害を受け翌年営業終了。今でも「フジタロード」という名が残っている。



能登カントリークラブ開業

(2017年営業終了)

1970(昭和45年)

ホテルフジタ京都開業
(2011年営業終了)

1972(昭和47年)

藤田グリーン・サービス(株)設立
(2023年全株式譲渡)

1973(昭和48年)

当社初の直営ワシントンホテル、札幌第1ワシントンホテル開業

当時ビジネスマンが出張で宿泊する施設は相部屋の商人宿のようなところしかなく、「出張旅費の範囲で、できれば夕食時にビールを1杯飲めて、子どもにちょっとしたお土産を買えるようにしたい」というコンセプトのもとワシントンホテルが誕生。のちに札幌ワシントンホテルへの建て替え・名称変更を経て現在のホテルグレイスリー札幌となる。
※ワシントンホテル1号店は1969(昭和44)年開業の名古屋第1ワシントンホテル。(株)名古屋国際ホテル(現在のワシントンホテル株)が運営。

1974(昭和49年)

仙台第1ワシントンホテル開業
(2001年営業終了)

1977(昭和52年)

藤田觀光工営(株)設立

1980(昭和55年)

秋葉原ワシントンホテル、宇都宮ワシントンホテル(2008年営業終了)、福島ワシントンホテル(FC、2000年営業終了)、八戸第1ワシントンホテル(FC、2017年営業終了)開業

1981(昭和56年)

山形七日町ワシントンホテル(FC)、札幌第2ワシントンホテル(2007年営業終了)開業

1982(昭和57年)

長崎ワシントンホテル(2019年営業終了)、仙台第2ワシントンホテル(2008年営業終了)、横須賀ワシントンホテル(FC、1983年営業終了)開業

新宿ワシントンホテルの開業とさらなる成長への模索 | 1983-2009

1983(昭和58)年12月、東京西新宿に「新宿ワシントンホテル」がオープンした。地上25階、地下4階、宿泊人員1,757名を誇る巨大ホテルの誕生である。以後、当社は同ホテルをフラッグシップとし、各地でワシントンホテル事業を積極的に展開。1990年代初頭のいわゆるバブル崩壊でダメージを受けたものの、「選択と集中」の方針のもと不採算事業からの撤退など改革に着手し、経営基盤を強化していった。

1983(昭和58)年

新宿ワシントンホテル開業

当時は1,301室で1棟としては日本一の規模。カードキーやホテル初といわれる自動フロントシステムを導入。



郡山ワシントンホテル(FC)、ホテルフジタ奈良(2020年営業終了)開業

1984(昭和59)年

箱根小涌園サンシャイン湯~とびあ開業
水着で入る屋外温泉という当時としては画期的なスタイル。箱根の日帰り入浴ブームのきっかけに。

松江ワシントンホテル開業
(2004年営業終了)

藤田観光 チャレンジの歴史

1983

観光業界の出来事

1983(昭和58)年

成田空港国際線の日本人旅行客数が500万人を突破

1985(昭和60)年

新潟ワシントンホテル開業
(2007年営業終了)



1986(昭和61)年

新宿ワシントンホテル新館(現ANNEX別館)完成(MC、2024年直営に変更)

1989(平成元)年

ニューヨーク椿山荘開業

海外出店第2弾。ニュージャージー州のマンハッタンを望む一角に開業した割烹レストラン。交通の便などを理由に残念ながら1992(平成4)年に営業終了。

1990(平成2)年

藤田観光ワシントンホテル旭川(2018年営業終了)、横浜伊勢佐木町ワシントンホテル(2021年営業終了)、天童ワシントンホテル(FC、2000年営業終了)開業

カメリアヒルズカントリークラブ開業



1987(昭和62)年

会津若松ワシントンホテル(FC)、鶴岡ワシントンホテル(FC、2016年営業終了)、秋田ワシントンホテル(2007年営業終了)、千葉ワシントンホテル(2019年営業終了)、福山ワシントンホテル(FC、2004年営業終了)、佐渡リゾートワシントンホテル(FC、1997年営業終了)開業

1988(昭和63)年

沖縄ワシントンホテル開業
(2012年営業終了)

1991(平成3)年

藤田ホテルサービス株設立
(2000年株フェアトンへ商号変更)

1992(平成4)年

十和田ホテル開業(業務提携)

1993(平成5)年

燕三条ワシントンホテル(FC)、成田ホテルフジタ(1996年ワシントンホテルへブランド変更、2006年営業終了)開業



1994(平成6)年

八戸第2ワシントンホテル開業
(FC、2019年営業終了)

1995(平成7)年

佐世保ワシントンホテル開業(FC)

1996(平成8)年

キャナルシティ・福岡ワシントンホテル、帯広ワシントンホテル(FC、2014年営業終了)、青森ワシントンホテル(FC、2019年営業終了)開業

長野新幹線開業

1997(平成9)年

阪神・淡路大震災発生

1998(平成10)年

長野冬季五輪開催/明石海峡大橋開通

1999(平成11)年

浦和ワシントンホテル開業
(2025年営業終了)

2000(平成12)年

関西エアポートワシントンホテル
(2021年FCに変更)、横浜桜木町ワシントンホテル、山形駅西口ワシントンホテル(FC)開業

2001(平成13)年

箱根小涌園ユネッサン開業

2002(平成14)年

いわきワシントンホテル開業
(2021年MCよりFCに変更)

2004(平成16)年

株ビジュアライフ設立

2005(平成17)年

立川ワシントンホテル開業(FC)

2006(平成18)年

CONVIVION(コンヴィヴィオン、2015年営業終了)開業、株Plus Thank(プラスサンク)設立

2008(平成20)年

ホテルグレイスリー田町開業

ワシントンホテルよりグレードの高い新ブランド「ホテルグレイスリー」を立ち上げ田町に出店。札幌・銀座ワシントンホテルもリブランド。

多様化するニーズに応えて新サービスを展開 | 2010-2024

2019（令和元）年に発生した新型コロナウイルス感染症は、翌2020（令和2）年に入ると地球規模で蔓延、ヒトとモノの動きが制限されて世界中の経済が停滞した。観光業界への影響は大きく、当社もまた大幅な赤字に転落して設立以来初めての存続の危機を迎えた。その局面を打開すべく構造改革を断行。そして2024（令和6）年、どのような状況にもゆらぐことのない確かな経営基盤の構築を目指し、5ヵ年で推進する「中期経営計画2028」を策定する。

2010（平成22）年

秋葉原ワシントンホテル建て替えによるリニューアルオープン
本格的なジオラマを備えた鉄道ルームが話題に。

2013（平成25）年

ホテル椿山荘東京リブランドオープン
「世界をもてなす、日本がある。」をコンセプトに、フォーシーズンズホテル椿山荘東京と椿山荘を統合。「和」のおもてなしを世界に発信。



広島ワシントンホテル、仙台ワシントンホテル開業
ゆとりある客室や独立型バスルームなどが特長の新モデル。客室デザインは同県にゆかりのある方から募集し、地域的魅力を反映させた。



藤田観光 チャレンジの歴史

2010

観光業界の出来事

2013（平成25）年
北陸新幹線開業
2020 東京五輪決定

2011（平成23）年
東日本大震災発生／九州新幹線全線開業／日本観光協会と日本ツーリズム産業団体連合会が合併し日本観光振興協会に

2010（平成22）年
中国訪日個人観光ビザの基準緩和／東北新幹線全線開業

2014（平成26）年

WHD始動
ワシントンホテル（WH）とホテルグレイスリー（HG）の新たな総称「WHD」を始動。各ブランドの魅力向上と、出店の加速を目指し、国内外にアピールしていく。

由布院 緑涌開業（2020年営業終了）

2015（平成27）年

株かわのの全株式を取得し子会社化
広島でオリジナルウェディングのプロデュース事業などを展開する株かわのが仲間入り。施設に頼らない総合プロデュースに挑戦することに。(2017〈平成29〉年に株 Share Clappingへ商号変更)



ホテルグレイスリー新宿開業

新宿東宝ビル内という立地からロビートラスに設置された大迫力の「ゴジラヘッド」は歌舞伎町のシンボルにもなっている。



2016（平成28）年

ホテルグレイスリー那覇開業、
ホテルグレイスリー京都三条 北館開業

2017（平成29）年

箱根小涌園 天悠開業
全客室に温泉露天風呂を備えた新たな旗艦施設。多彩なアクティビティなど、温泉以外の魅力も発信。



マリコレ ウエディングリゾート&レストラン開業（2021年営業終了）

鞘ヶ谷ガーデン アグラス開業
(2021年当社運営による営業終了)

木更津ワシントンホテル開業（FC）

ホテルグレイスリー京都三条南館開業

2018（平成30）年

旧箱根ホテル小涌園閉館

藤乃煌 富士御殿場開業
当社初のグランピング施設。富士山を望むアウトドアデッキではガスオーブングリルで豪華な食材を焼き上げる体験が楽しめる。



和食 折紙 浅草開業（2021年営業終了）

ホテルグレイスリーゾウル開業



ホテルグレイスリー浅草開業



Nordisk Village Goto Islands開業
(2023年営業終了)

2019（令和元）年

永平寺 親禅の宿 柏樹關開業

旅館と宿坊の中間に位置する施設をコンセプトに永平寺門前に誕生。坐禅や精進料理など、禅の世界に触れる。



ホテルタビノス浜松町開業

ミレニアル世代をターゲットとしたHOTEL TAVINOSブランド1号店。マンガをモチーフにした内装がユニーク。



ISORAS CIKARANG

（イソラス チカラング）開業

インドネシアに開業した当社初のサービスアパートメント。靴を脱いでくつろぐことができ、露天風呂付大浴場も備えている。

ホテルグレイスリー大阪なんば開業

2020（令和2）年

箱根小涌園 三河屋旅館開業

創業140年の旅館を引き継ぎ、改装を経て開業。多くの文人墨客が滞在した本館は登録有形文化財（建造物）に指定され、随所に職人の技を感じる。



ホテルタビノス浅草開業

2021（令和3）年

ホタルタビノス京都開業



ホテルグレイスリー台北開業

関空泉大津ワシントンホテルリブランドオープン（FC）

2023（令和5）年

箱根ホテル小涌園建て替えによるリニューアルオープン

旧ホテル名を受け継いだ次世代型ホテル。種類豊富なビュッフェや箱根小涌園ユネッサンヒ元湯 森の湯が滞在中遊び放題などの魅力。



2020

観光業界の出来事

2013（平成25）年
北陸新幹線開業
2020 東京五輪決定

2011（平成23）年
消費税が5%から8%に／ツーリズム EXPO ジャパン開催

2010（平成22）年
北海道新幹線開業／熊本地震発生

2015（平成27）年

プレミアムフライデー実施開始／民泊新法成立

2016（平成28）年

北海道新幹線開業／熊本地震発生

2017（平成29）年

国際観光旅客税法成立／民泊新法施行／北海道胆振東部地震発生／豊洲新市場開場／「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録

2018（平成30）年

国際観光旅客税法成立／民泊新法施行／北海道胆振東部地震発生／豊洲新市場開場／「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録

2020（令和2）年

新型コロナウイルス感染症が流行、「緊急事態宣言」発出

2019（令和元）年

台風19号が襲来

2024（令和6）年

能登半島地震発生／北陸新幹線が敦賀まで延伸

2023（令和5）年

新型コロナウイルス感染症「5類」移行

2022（令和4）年

西九州新幹線が開業／日中國交正常化50年

2021（令和3）年

東京五輪開催